

●発表日:令和4年(2022年)6月29日

道路点検AIシステムを導入した新しい道路管理を始めます ～官民連携DXで道路管理を効率化～

田原市が包括連携協定を締結している三井住友海上火災保険株式会社の道路点検AIシステム「ドラレコ・ロードマネージャー」を導入し、道路の損傷状況の検知・診断を行います。本システムを導入する自治体は、田原市が全国初となります。

道路管理業務にDXを導入することで、事故を未然に防ぎ「住みやすいまち」、「また訪れたいまち」を目指します。

本業務を実施後、業務の有効性を評価し、通年の実施を検討していきます。

○事業概要

専用のドライブレコーダーを搭載した公用車両等が市内を走行することで、広域な路面データを自動的に収集します。集めた路面データからAIが損傷箇所を自動検知することで、DXによる道路管理業務の効率化・高度化を推進します。

○実施期間

7月1日から9月30日まで

○検出可能な損傷

- ・ポットホール（道路穴）
- ・ひび割れ（縦線状、亀甲状）
- ・白線のかすれ（外側線、横断歩道等）

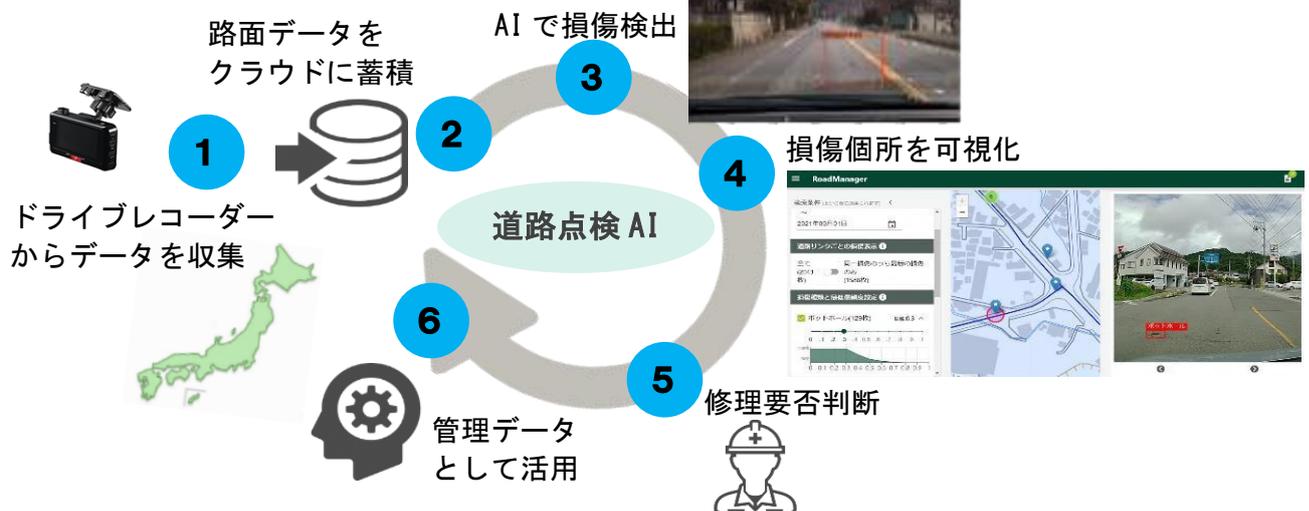
▼ポットホール



▼ひび割れ



○業務の流れ（イメージ）



(担当) 維持管理課 補佐兼係長 森下貞延 電話 (0531) 23-3520